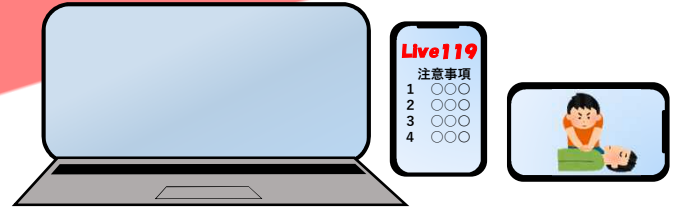


Live 119を活用した 口頭指導の流れ



1 急病人が発生しました。119番通報をしましょう。



救急車呼ばなきゃ。



落ち着いて「119番」
に電話をかけましょう。

2 指令センターで受付をします。



東京消防庁です。火事
ですか？救急ですか？



「火事なのか、救
急なのか」をまず
伝えましょう。ど
ちらでもない場合
は、何が起きたか
簡潔に伝えてくだ
さい。

3 救急車が向かう住所と、何が起きたかを伝えましょう。



住所が分からない
と消防隊、救急隊
を指令できません。
**落ち着いて正確な
住所を伝えてくだ
さい。**持病などの
詳しい情報は、到
着した救急隊に直
接伝えてください。

4 口頭指導が必要なケースです。口頭指導担当者に電話を繋ぎます。



「意識がない。息
をしていない。の
どに何かが詰まっ
た。」などが口頭
指導の対象です。

5 口頭指導担当者が映像を使った口頭指導を判断しました。

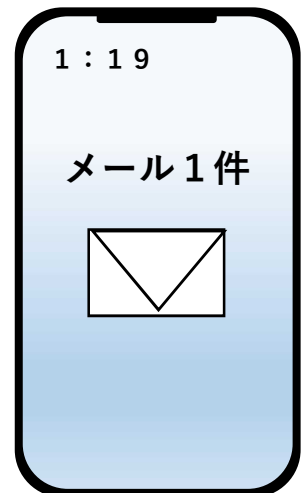
今お使いの電話はスマートフォンですか？

映像を使ってあなたをサポートします。

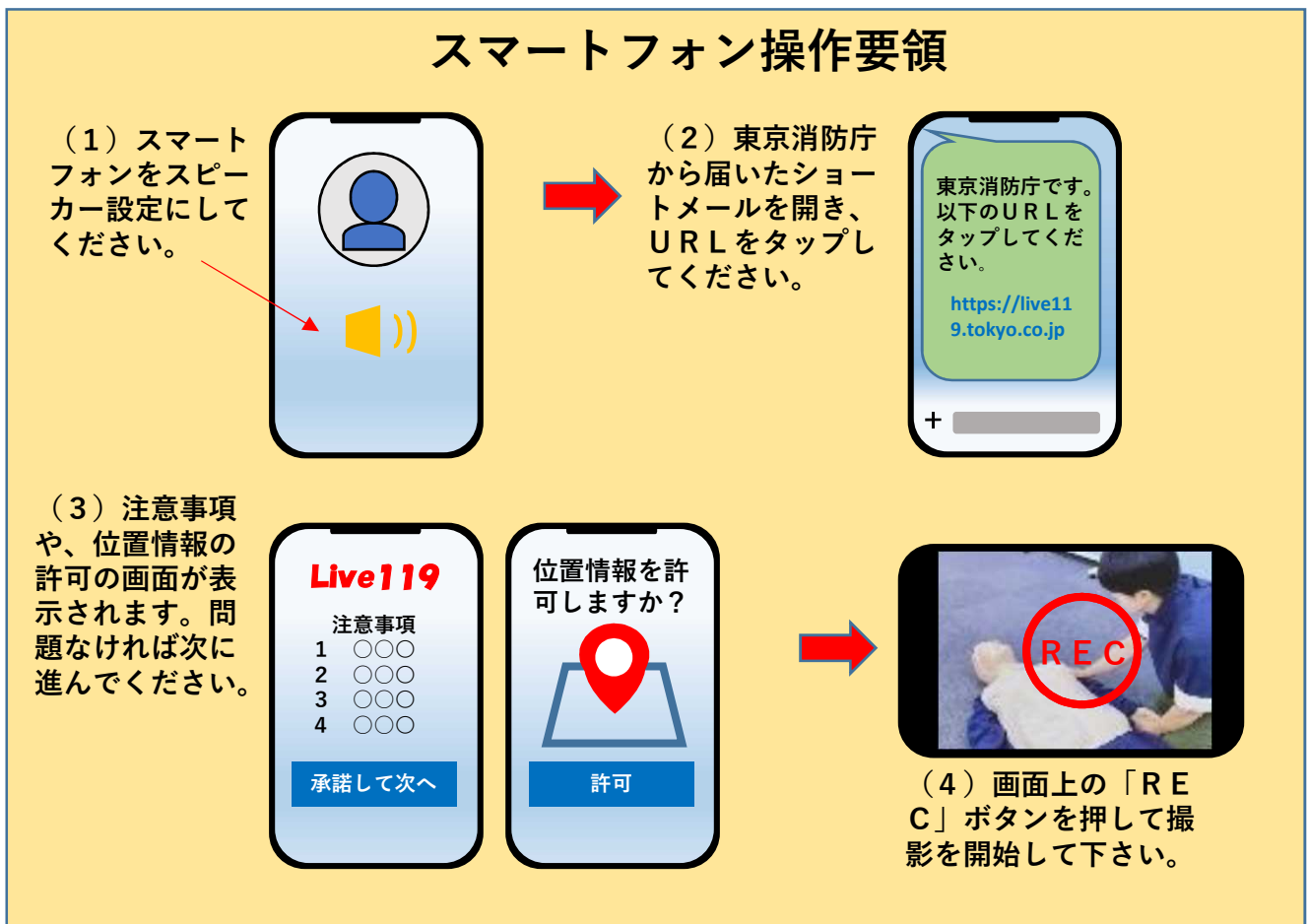


スマートフォンのみLive119が使えます。Live119を使用できない場合も、音声での口頭指導は可能です。

6 専用パソコンから通報者のスマートフォンにショートメールを送信します。



7 受信したメールを開きLive119を使いましょう。



(注意) 上記画像はイメージです。実際の画面とは異なります。

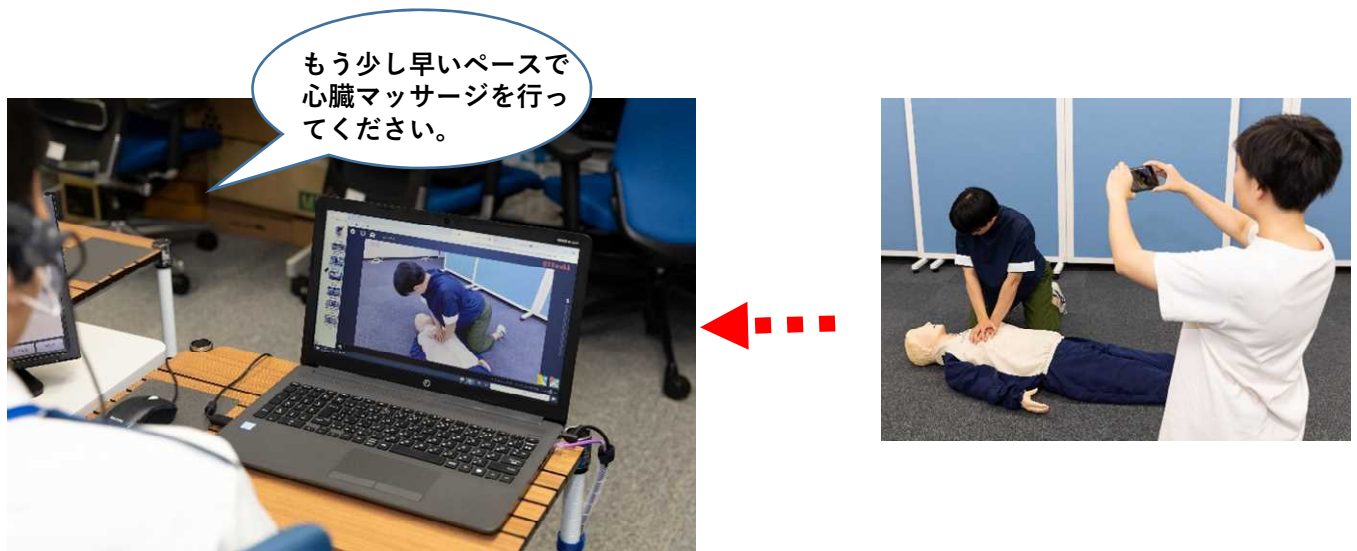
8 専用のパソコンから、通報者が撮影した映像を確認できるようになりました。傷病者の状況を音声と映像で口頭指導担当者に伝えましょう。



9 応急手当の方法が分からない場合、口頭指導担当者の専用パソコンから、応急手当方法を解説した動画を、通報者のスマートフォンに送信します。



10 口頭指導担当者が応急処置を映像で確認し、必要に応じてアドバイスをします。



1 1 通報者が映像送信をせず、口頭指導担当者が応急手当の動画を送る機能（ライブラリ機能）もあります。

